



2022-23 年度
国際ロータリー会長
ジニファー・ジョーンズ

Weekly Report Niigata



2022~23 年度
新潟ロータリークラブ会長

石川 治壺

新潟 RC 7月第 3例会 (2022.7.19) (Zoom 例会併催) No.3422

(1) ロータリー—ソング「我等の生業」ピアノ演奏

(2) 石川 治壺会長挨拶

日本における庭園のはじまりから奈良時代の古庭園、東院庭園の紹介までのお話をしましたが、本日は平安時代の庭のお話をしたいと思います。

平安時代初期 794~960 年ごろにおいては「天皇や貴族たちによって数多くの大池泉庭園(だいちせんていえん)が造られたが、残念ながら、今日に当時の完全な姿は残されていないとされています。

当時の姿が比較的残された庭園が京都にあります。それは右京区嵯峨大沢町 4 にある大覚寺嵯峨院跡庭園です。

大覚寺嵯峨院跡庭園 (大覚寺大沢池)は平安時代初期の天皇・嵯峨天皇が営んだ離宮『嵯峨院』の庭園として作庭されたと伝わる“日本最古の庭池”(にわいけ)の一つとされています。この写真を見ると庭園と言うよりも湖か潟としか思えない規模です。

庭園の北東部分には百人一首に 滝の音は、絶えて久しくなりぬれど名こそ流れて なほ聞こえけれ と歌われた、“名古曾滝跡”(なこそこのたきあと)滝組と遣水 そして池の中には“天神島”“菊ヶ島”という 2 つの中の島と“庭湖石”という岩が配されています。この滝組石などは現存する庭園の中では最も古いものではないかと考えられています。

この写真は名古曾の滝跡 手前が遣水です。平安時代の初期の庭園の遺構がこのように復元され現存するのは本当に興味深いと思います。

また池の中の“天神島”“菊ヶ島”という 2 つの中の島と“庭湖石”という岩による“二島一石”の組合せが“華道 嵯峨御流”(さがごりゅう いけばな)の基盤となっているとのことです。ちなみに奥に見える山は嵐山で借景として取り入れられています。

平安初期の庭園は広大な池泉のお庭が多くその庭園内で大沢池に浮かぶ龍頭船などからの観月会や遣水での歌会などでの活用がされていたと考えられます。

信仰の場所としての庭園といった形はあまり感じられなくこ

の時代以降の庭園と比べると平安時代の水辺の貴族や天皇の遊興の場所といった側面を多く感じる庭園です。

今回は平安時代の中期 寝殿造庭園の全盛期 京都府宇治市の平等院庭園についておはなしたいと思います。

本日ウクライナのヴィクトリアさんがゲストスピーカーということでウクライナの国花ひまわりの写真で会長挨拶を終わりたいと思います

(3) 新会員紹介



岡三にいがた証券(株)
代表取締役会長兼社長
江越 誠君
紹介者 石川 治壺君
所属委員会 広報会報雑誌委員会

この度は伝統ある新潟ロータリークラブに入会させていただき、ありがとうございます。私は千葉県君津市という南房総の街で生まれ育ち、今年 6 月まで千葉県柏市に住んでおりました。1993 年岡三証券に入社以来、本社勤務が続き、今回岡三にいがた証券に異動となり、新潟で人生初の単身赴任生活をスタートしました。今回ご縁をいただいた新潟ロータリークラブの一員として、少しでもお役に立てるよう、努めてまいりますので、よろしく願いいたします。



新潟信用金庫 常務理事
総合企画部長 高山 克幸君
御紹介者 小山 楯夫君
所属委員会 親睦委員会

新潟 RC の皆様、はじめまして。新潟信用金庫の高山克幸と申します。伝統ある新潟ロータリークラブ入会のご承認を賜りありがとうございます。私は新潟市中央区「新潟島」で生まれ、大学の 4 年間を除いては、ずっと新潟市で育ち、勤務しております。当金庫は地域密着型の金融機関として地域社会

やお客様に貢献するとともに、人と人との出会いや繋がりを大切にしながら育てていくことが、使命と考えております。私は、今年の1月に還暦を迎えました。人生の秋をそろそろ迎えておりますが、まだまだ洩垂れ小僧、これからの人生、新潟ロータリークラブの様々な奉仕活動を通じ、青春・男盛りを謳歌し、自らの成長の場としていきたいと思っております。初めてのロータリークラブ参加となります。皆様方からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**(4) 国際ロータリー第2560地区
インターアクト年次大会について報告**

大澤 強インターアクト委員長文責
報 告 河西弘太郎副委員長

7月16日(土)、新潟クラブがホストとなり、2560地区のインターアクト年次大会が行われました。当クラブがスポンサーとなっている新潟明訓高校をメイン会場とし、東京学館、新発田中央、村松、敬和学園をサブ会場として5校の学生計36名が参加致しました。ロータリアンからも、小木大委員長、小林インターアクト委員を始め多くの方々にもリモート参加いただき、ハイブリッドでの開催となりました。初めてのリモート開催でもあり、通信環境など小さな課題はありましたが、高橋秀樹ガバナーにも会場へ来て挨拶をしていただき無事開催することができました。新潟クラブからは、石川会長、大澤委員長と河西が現地にてリアル参加しております。大会は、新潟大学 人文社会・教育学科 村山敏夫准教授から、SDGsをテーマに「ずっと住みたい街にするために私たちにできること、高校生が考える持続可能な地域づくり」をテーマに講義を頂き、そのあと、村山先生がファシリテーターとなり、各高校のインターアクトメンバーにて、グループワークを実施致しました。グループワークには、新潟大学の学生が各グループについていただきサポートをいただきながら進めました。普段、インターアクトとして活動している高校生ですが、これからの地域、新潟への将来の夢も含み、「人口を増やす環境」や、「交通システムがもっと便利に安価に利用できるには」など、新潟県の課題でもあるテーマで発表したグループもあり、夢を実現するためにどうしたらいいか考える学生たちに頼もしさを感じました。コロナ禍になり、思うように活動ができない年が続いていますが、会場はそれぞれ別にせよ、グループワークができるようになったことが、Withコロナ生活が浸透し前進してきていると感じた次第です。まだまだ予断を許しません。インターアクトの皆さんが、コロナ感染に気をつけながら活動ができることを願っています。最後に、本企画を構成いただきました、地区インターアクト委員長であり、当クラブの佐藤隆夫さんに感謝を申し上げ報告とさせていただきます。

(5) ロータリー財団寄付発表(安藤 栄寿副委員長)

本多 晃君 安藤 栄寿君

(6) ニコニコボックス紹介(佐藤 紳一委員)

- ・五月女政義君 本学の留学生のお話をお聞きいただく機会をいただき、ありがとうございます。
- ・白勢 仁士君 新会員 新潟信用金庫 高山克幸さんの入会を御祝いして。
- ・深澤 康志君 誕生日のワイン有難うございました。

(7) 幹事報告(高野 潤幹事)

- ・新会員オリエンテーションを4階「柳の間」で開催致します。
- ・佐渡南ロータリークラブの例会場が変更になりました。
〒952-1325 佐渡市窪出 978-3 RYOKAN 浦島
電話 0259-57-3751 FAX 0259-57-3762

**(8) 卓話「ウクライナ これまで、今、これから」
事業創造大学院大学 ウクライナ留学生
ヴィクトリア ミロンチュク さん**

*ご紹介 事業創造大学院大学 五月女政義学長



**(9) ウクライナへの寄付として
例会出席者よりとミリオンダラーミールとして
合計 109,535円を贈呈**

(10) 7月19日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
84	84	72	85.71

Zoom参加 9名

7月26日に予定しておりました前橋RCとの
合同納涼例会は感染症拡大防止の為に取消とさせていただきます。
お屋の例会もございません。
8月2日は通常例会を開催予定です。

新潟ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>